

# 表紙の写真

猪之頭の富士

磐周医師会 吉田 達也

表紙の写真を募集しています。

静岡県内の風景、名所旧蹟、祭り等の風物など、静岡にゆかりのある写真を募集しています。  
コメントを添えて広報部までお寄せください。

# 編集後記

新型コロナウイルス感染症の第3波も収束の気配があります。ファイザー社製のワクチン接種が2月から医療従事者に開始されます。今後65歳以上の高齢者や一般の人への接種が広がれば集団免疫が獲得され、新型コロナウイルス感染症はインフルエンザと同様の対応に変わっていくはずです。米国疾病予防管理センター（CDC）によれば、アナフィラキシーの出現頻度は10万人あたり1.1人であり、アナフィラキシーを起こした21人中17人は過去に何らかのアレルギーの既往があり、過去にアナフィラキシーを発症したことがある人は7人でした。接種会場にはボスミンやAEDを配備し、不安を取る意味でも救急車や救急隊員の配備も考慮すべきです。また基本型・連携型接種施設から個別接種施設へのワクチンの配送をいかに柔軟かつ迅速に行うかが予防接種事業を成功させる一つの鍵となるでしょう。

今月の【とびらのことば】は荻野和功理事が大激動期の病院運営～現状と将来展望～と題して、コロナ禍における病院運営の難しさと医師の働き方改革の問題点から静岡県医師バンクの有用性に言及されました。聖隷三方原病院院長で静岡県病院協会の副会長も兼務されている荻野理事はまさに医師会と病院協会の潤滑油です。【祝】では、紀平幸一会長が日本学校保健会会長賞を、磐周医師会の三枝智宏先生が医療功労賞を受賞されました。誠にありがとうございます。【郡市医師会の救急医療を知る】では志太医師会会長の錦野光浩先生に志太医師会管内に於いての救急医療体制の現状として、休日当番医、夜間の救急医療と今後の課題に言及していただきました。【シリーズ～新型コロナウイルス感染症～】では浜松医療センターにおける新型コロナウイルス感染症診療と題して、感染症の権威であり院長補佐の矢野邦夫先生に390人の入院患者の治療経験と今後の展望をご執筆いただきました。【医会だより】では静岡県耳鼻咽喉科医会会長の内田實先生に、まとまりが良く諸問題に一致団結して活動している耳鼻咽喉科医会の良さをご報告いただきました。【医療安全ニュース】ワンポイントアドバイスは静岡県健康福祉部医療局医療政策課の田中宣幸課長に令和元年度の静岡県医療安全相談窓口における相談実績報告をいただきました。コロナ禍での傾向として、かかりつけ医の院内感染防止対策の不十分さを上げて指導・処分を求める要望や、診療拒否や応招義務違反ではないかという訴えが多数見受けられたそうです。参考資料として厚労省新型コロナウイルス感染症対策推進本部からの事務連絡が掲載されていますので、熟読し心して日常診療に当たしましょう。

本誌発行時には医療関係者へのワクチン接種が始まっていて、4月からは高齢者への接種が始まります。この国の一大事業を成功させるためには会員の皆様方のご尽力が不可欠です。行政と郡市医師会が一体となって地域住民に安心と健康を届けられますよう、諸先生方のご協力を仰ぎたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

(令和3年2月10日 森 泰雄 記)

SHINJUKU

発行所  
発行人  
毎月1日発行

一般社団法人静岡県医師会

紀平幸一

〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠3丁目6番3号  
電話 (054) 246-6151  
FAX (054) 245-1396  
ウェブサイトURL <http://www.shizuoka.med.or.jp/>  
Eメールアドレス [ishikai@jfm.shizuoka.med.or.jp](mailto:ishikai@jfm.shizuoka.med.or.jp)

定価 880円 (送料共)  
(会員の購読料は会費に含まれます)  
印刷所 大日三協株式会社